

7. 御殿加神社

垂水島津家初代忠将を祀った社で、永禄8年（1565）、2代以久が国分の清水に建立しました。寛永2年（1625）に4代久信が市木の垂水城天下比良に勧請しました。この天下比良の地名から天下大明神と呼ばれ、後に殿下、さらに殿加と転じたと言われています。

後に天下比良から現在の場所に移し、垂水島津家代々の氏神として崇められてきました。現在の社殿は、昭和60年（1985）に鳥居と共に境内に建てられました。

